

## 令和6年度「安全で充実した沢活動実施のための指導者講習会」報告書

### 1. 趣旨

沢活動を実施する団体の指導者が、実際のコースを遡行しながら、安全で充実した沢活動実施について体験を通して学び、実際の指導に役立つ知識や情報を得る。

### 2. 事業の概要

(1) 参加対象及び人数 沢活動を実施する団体の指導者 各回 20 名程度

(2) 期日および参加状況 原則として各団体3名以内

回数	日程1	日程2	日程3	コース	男	女	参加者数
第1回	5月17日	金	午前	上流コース	0	1	1
第2回	5月17日	金	午後	下流コース	1	0	1
第3回	5月24日	金	午前	上流コース	3	3	6
第4回	5月24日	金	午後	下流コース	2	3	5
第5回	5月25日	土	午前	上流コース	14	8	22
第6回	5月25日	土	午後	下流コース	8	7	15
第7回	5月31日	金	午前	上流コース	0	2	2
第8回	5月31日	金	午後	下流コース	2	3	5
第9回	6月8日	土	午前	上流コース	8	8	16
第10回	6月8日	土	午後	下流コース	7	6	13
第11回	6月21日	金	午前	上流コース	5	1	6
第12回	6月21日	金	午後	下流コース	4	3	7
第13回	6月22日	土	午前	上流コース	8	2	10
第14回	6月22日	土	午後	下流コース	5	4	9
第15回	7月6日	土	午前	上流コース	3	1	4
第16回	7月6日	土	午後	下流コース	7	7	14
第17回	7月31日	水	午前	上流コース	11	4	15
第18回	7月31日	水	午後	下流コース	4	3	7
合計					92	66	158

### 3. 企画運営のポイント

(1) 安全で充実した沢活動実施のために、沢活動における安全への配慮や危険箇所、技術について、実際のコースをたどりながら説明する。また、自然の家で推進している体験学習法や沢での様々な活動について情報提供する。

(2) 上流コースと下流コースに分け、当所の沢活動の全コースを網羅したプログラムを実施する。

(3) 指導者自身が参加者の立場になって楽しむことで、沢活動の楽しさを各利用団体の参加者に伝えられるようにする。

#### 4. 日程

	午前の部	午後の部
集合・受付開始・着替え	8:40～	12:30～
沢活動(講習及び実地踏査)	9:00～12:30	13:00～16:00
アンケート記入・資料配布	12:30(予定)	16:00(予定)

#### 5. 主な活動内容



館内掲示を活用した事前説明



安全装備の確認



コース説明と砥沢の特質を解説



危険箇所や迂回路の説明

#### 6. 成果と課題

##### (1) 参加者アンケート結果

満足:94.2% やや満足:5.8% やや不満:0% 不満:0%

##### (2) 参加者の声

- ・ 子どもたちの動きや沢のコースについて丁寧に説明していただいたおかげで、子どもたちに具体的に事前指導ができると思います。
- ・ 教科横断的な助言をいただき、準備に活かせそうです。
- ・ 安全に実施するためのポイントや、子ども達と一緒に活動するときの楽しみ方を教えていただけなので、より充実した活動ができると思いました。

##### (3) 成果

- ・ 沢活動における安全への配慮や危険箇所、技術について、共通マニュアルを作成し講習会を実施したことにより、担当者間の指導の差異を減らすことができた。
- ・ 全 18 回の講習会を開講することで、団体のニーズに合わせた日程で実地踏査をおこなうことができた。
- ・ 参加者アンケートより、初めて講習会に参加した人は全体の 6 割を占めていた。初めてのフィールドで引率に不安を抱える指導者にとって、体験を伴った講習会を実施することで、心理的負担を軽減することができた。

##### (4) 課題

- ・ 回によって参加者数に大きな開きが出てしまった。実施回数の見直しを図り、職員を参加者数に応じた適正人数で配置することで、講習会の安全性向上と指導内容の充実を図っていくことが必要である。

担当:事業推進係 高橋 諒